

令和5年度海の再生及び環境対策特別委員会管外視察の概要

- 1 視察日程 令和5年10月24日(火)～10月26日(木)
- 2 視察者 海の再生及び環境対策特別委員会委員(13名)
緒方 勇二(委員長)、西山 宗孝(副委員長)、吉永 和世、坂田 孝志、山口 裕、前田 憲秀、岩田 智子、末松 直洋、吉田 孝平、城戸 淳、荒川 知章、亀田 英雄、高井 千歳
- 3 視察先 (1)NPO法人森は海の恋人 (宮城県気仙沼市)
(2)岩手県水産技術センター (岩手県釜石市)
(3)久慈バイオマスエネルギー (岩手県久慈市)
(4)おいらせ水素ステーション (青森県上北郡おいらせ町)
(5)有限会社ループ戸崎営業所 (青森県三沢市)
- 4 視察目的 海の再生及び環境対策に係る今後の委員会審議の参考とするため、次のとおり、視察を実施しました。

5 視察の概要

(1) NPO法人森は海の恋人

「NPO法人森は海の恋人」は良質な牡蠣の生産のために始まった気仙沼湾上流の森に落葉広葉樹の植林運動「森は海の恋人運動」を展開する団体です。同法人の森づくり活動について情報収集するとともに、海の環境保全や水産資源回復に向けた取組に係る意見交換を行いました。

今回、同法人から直接お話を伺い、本県が取り組む海の再生と環境対策のための参考情報を広く収集することができました。



(2) 岩手県水産技術センター

岩手県水産技術センターでは、①漁業経営の高度化・安定化に関する研究開発 ②食の安全・安心の確保に関する技術開発 ③生産性・市場性の高い産地形成に関する技術開発 ④水産資源の持続的利用に関する技術開発 ⑤いわてブランドの確立を支援する水産加工技術の開発 を柱に技術・研究開発に取り組んでいます。

今回の視察では、本県の水産研究と共通する、牡蠣に関する研究やワカメ養殖場の栄養塩に関する調査など漁業環境の維持・保全に関する研究に関する参考情報を広く収集することができました。



(3) 久慈バイオマスエネルギー㈱

久慈バイオマスエネルギー㈱では、地域の木質未利用資源を活用し、菌床しいたけ生産事業者に温水・蒸気・冷水を熱供給として利用しています。木質チップを蓄熱利用する「久慈モデル」の取組等について、聞き取り及び意見交換を行うとともに、菌床しいたけ栽培ハウス、熱供給プラントの現地視察を行いました。

今回、同社から直接お話を伺い、本県が取り組む再生可能エネルギーの利用促進と省エネルギー推進の参考情報を広く収集することができました。



(4) おいらせ水素ステーション

おいらせ水素ステーションは、リユースパネルによる太陽光発電エネルギーを主電源とし、リユースバッテリーで非常用電源を確保しながら水素を製造するスマート水素ステーションです。

今回、同社から直接お話を伺い、地中熱エネルギーを活用した空調・換気システムを導入した水素製造の取組に係る参考情報を広く収集することができました。



(5) 有限会社ループ戸崎営業所

有限会社ループ戸崎営業所では、自然災害や経年劣化で発電効率が低下した使用済太陽光パネルの発電性能診断を実施、再利用や資源化する太陽光パネルのリユース・リサイクル事業を全国で初めて導入しました。

今回、同社から直接お話を伺い、将来大量排出されることが予想される太陽電池廃パネルを見据えた取組に係る参考情報を広く収集することができました。

